

## 消化器外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 膵癌に対する審査腹腔鏡の適応基準の検討

[研究の目的]

膵がん(浸潤性膵管癌)は診断された時点で進行して切除不能であることが多く、また、手術を施行しても、術後に再発することが極めて多く予後不良な疾患です。時には実際に手術を試みて初めて、術前検査では発見できない遠隔転移(腹膜播種や腹水へのがん細胞の存在)を認め、手術を断念せざるを得ない場合があります。審査腹腔鏡は、このような転移がないかどうかを確認するための検査です。膵がん患者さんの画像検査や血液検査から遠隔転移との関連因子を予測できれば、遠隔転移をもつ可能性が高い患者さんに対して的確に審査腹腔鏡を施行することができ、集学的治療を行うべき患者さんや治療内容などに役立つと考えられます。

[研究の方法]

対象となる患者さん

膵がん(浸潤性膵管癌)に対して手術を受けられた患者さんで、2014年1月1日から2022年9月30日の間に、消化器外科に通院・入院された方。

利用する検体・情報

検体：なし

情報：

・膵がんに対する手術を受けた時点での患者さんの背景(術前因子)

年齢、性別、腫瘍部位、切除可能性分類、腫瘍マーカーCEA・CA19-9、CT画像情報(腫瘍径、リンパ節転移の有無、神経浸潤の有無、膵前方組織への浸潤の有無、膵後方組織への浸潤の有無、門脈系への浸潤の有無、動脈への浸潤の有無、膵外神経叢浸潤の有無)FDG-PETのSUV値、術前治療の有無。

・膵がんに対する外科治療に関する患者さんの背景(手術因子)

手術内容、術後合併症の有無。

・病理学的因子

腹水細胞診の結果。腹膜播種を疑い摘出した病変があれば、その組織診断結果。

[研究組織]

長尾 美奈 (香川大学医学部腫瘍病理学、助教)

岡野 圭一 (香川大学医学部附属病院消化器外科、教授)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器外科 担当医師 長尾美奈、岡野圭一

電話 087-891-2438 (直通) FAX 087-891-2439 (直通)